



# 株式会社 CRAZY

## ファイル共有により、スタッフ間のスムーズなコミュニケーションと業務効率化を実現

株式会社CRAZYは、二人の価値観を結婚式というイベントの中で自由に表現することを提案し、運営まで行うウェディングプロデュース事業をはじめ、さまざまなユニークな事業を行う会社だ。常識に捕らわれないそのスタンスは、ライフスタイルにこだわりを持つ層に支持されている。同社は2016年、法人契約によるCreative Cloudへの一元化を実現。それはファイル共有の効率化をはじめとする多くのメリットにつながっている。

# CRAZY™

<http://www.crazy.co.jp/>  
所在地：  
〒130-0011  
東京都墨田区石原1-35-8

### 概要

新たに結婚する二人の価値観を反映したオリジナル結婚式の企画、運営

### 事業内容

- CRAZY WEDDING、CRAZY KITCHEN、CRAZY CAFÉ「BLANK」、gallery wedding、WHERE、CRAZY CREATIVE AGENCY

### 課題

- コンプライアンス遵守および正確なライセンス管理
- よりスムーズなファイル共有の実現
- フォント環境の統一化

### ソリューション

#### Creative Cloud グループ版

##### デスクトップアプリ

- Adobe Illustrator CC
- Adobe Photoshop CC

##### モバイルアプリ

- Adobe Capture CC
- Adobe Photoshop Sketch

##### サービス

- Typekit
- Creative Cloud ライブラリ



### 導入メリット

#### コンプライアンスの遵守



グループ版導入で、コンプライアンス遵守と容易で正確なライセンス管理が実現

#### スムーズなファイル共有で 労力が1/10に



場所を問わず、スムーズなファイル共有が可能になった

#### フォント環境を一元化



TypeKitによって、フォント環境の一元化を実現

#### 手書きロゴ加工の効率化



Capture CCで手書き画像の読み込みを効率化

### ■こだわりを持つ二人にオリジナルウェディングを提供

株式会社CRAZYは、2012年に創業。「style for Earth」を経営理念に、ウェディングプロデュースをはじめとするユニークなビジネスを展開する新進気鋭の会社だ。結婚式はこれまで、あらかじめ式場側が用意した枠組みの中で行うほかないのが一般的だった。それに対して、世界に二つとない結婚式を提供することが同社のウェディングブランド「CRAZY WEDDING」の特長だ。テーマは、「人生が変わるほどの結婚式をしよう」。70名の従業員の中で、ウェディング業界経験者はわずか2名。業界の常識にとらわれない発想力がその魅力だ。

同社は20代後半から30代のライフスタイルにこだわりを持つ層に確実に支持を広げ、現在では年間250～260組のユニークで二人の想いが詰まったウェディングを手掛けている。

### ■私物ツールからCreative Cloudへと全社的に移行

こだわりを表現する同社のオリジナルウェディングは、プロデューサーが二人の半生について、時間を掛けてヒアリングすることからはじまる。このプロセスを通して導き出された二人の価値観を具体的な形に落とし込むのが、アートディレクターの役割だ。同社のアートチームは現在13名のスタッフが在籍する。オリジナリティの高いウェディングを提供する会社だからこそ、クリエイティブへのこだわりも深く、今回のCreative Cloudグループ版導入もその一つだ。

デザイン業界や広告業界などから集まったアートチームのスタッフの多くは当初、個人で契約していたCreative SuiteやCreative Cloudをそのまま業務に使っていたという。営業チーム責任者でもある、デザイン室 プロモーションマネージャーの近藤 友輝氏はこう説明する。



デザイン室 プロモーションマネージャー  
近藤 友輝氏



アートディレクター  
柿迫 航氏

「会社の成長に環境整備が追い付かなかったという事情もありますが、個人のツールを業務に使うことには、やはりコンプライアンス上問題があります。そのため、会社としてCreative Cloud導入を決断しました。以前は、誰が何を使っているのかまったく把握できていませんでしたが、移行後は管理画面で正確に把握できるようになった点も導入メリットの一つです」

導入ライセンスはアートチーム、その制作をサポートするクリエイティブキャストを中心に活用、またデザイン経験を持つプロデューサーもCreative Cloudを活用している。

### ■クラウドストレージでファイル共有の労力を1/10に削減

クラウドストレージによるファイル共有も近藤氏が高く評価する点の一つ。

「当社のウェディングでは、席次表の代わりにゲストをテーブルに案内するエスコートカードを用意することが多いです。その制作では、デザイナーが作ったカードのひな形に、クリエイティブキャストがゲストの名前を入力していきます。これまでは、社内サーバーにアップロードしたひな形をクリエイティブキャストがローカルにダウンロードし、入力を行い、再びアップロードするやり方で行って来ました。しかし、入力作業を終えれば自動的にデータが更新されるCreative Cloudのファイル共有を使うことで、こうした手間はまったく不要になりました。社内サーバーやファイル転送サービスを利用していた頃と比較すると、労力は1/10程度に削減され、クリエイティブな作業に時間を費やせるようになりました」

一人一人の考えに応じたユニークな働き方を実践する同社のデザイナーが働く場は、オフィスに留まらず、自宅やカフェ、ウェディング会場など幅広い。どこにいるかを問わず、インターネットにアクセスできさえすれば常に最新ファイルが共有できる環境は、スムーズな情報共有を図る上でも大きなメリットになっている。

### ■Typekitでクリエイティブ環境の統一化を実現

私物のデザインツールを利用していた頃は、フォント環境がそれぞれ異なることも課題の一つだった。約1,300以上のフォントが利用できるTypekitは、こうした問題の解決とクリエイティブ環境の統一化に貢献している。

またアートディレクターの柿迫 航氏は、さまざまなデザイン素材のスムーズな共有を可能にするCreative Cloudライブラリを高く評価する。

「ウェディング会場の世界観の統一は、エスコートカードや席札、メニュー表で使用される色やフォントを統一することが大前提です。ライブラリに保存しておけば、いちいちファイルを開かなくても、色やブラシ加工に関する情報が簡単に共有できますからやはり便利ですね。導入後は、複数のスタッフで共同作業を行った場合も、色やトーンのずれがなくなりました」

#### Capture CCを活用した造形物作成の流れ



手書きで起こしたラフデザインを、モバイルアプリ Capture CC でデータとして取り込む



Creative Cloudの共有機能で、Illustrator CCに自動的にパスデータとして取り込まれる



手書きのスケッチをデジタルデータへ変換し、最終的に造形物に落とし込む作業も、Capture CCを利用することで作業効率が飛躍的に向上した

### ■Capture CCで手書き素材の入力を効率化

同社のウェディング装飾は、すべて手書きスケッチから始まる。例えばロゴの場合、手書きしたスケッチを素材としてIllustratorに読み込み、仕上げていくことが一般的だ。手書き素材の読み込みに大きな成果を挙げているのがCreative Cloudが提供するモバイルアプリ、Capture CCだ。

「手書き素材の読み込みはすべて、モバイルアプリのCapture CCで行っています。従来のように、スキャナーで読み込んだデータを読み出すプロセスと比較すると、作業はとて早くなりましたね」(柿迫氏)

同社が今後の課題として注目しているのが、描画ツールPhotoShop Sketchの活用だ。

「プロデューサーによるヒアリングでは、スケッチなどを通して、お客様とのコンセンサスを深めています。スケッチはモノクロのペンで行うため、色に関するコンセンサスが得にくいという課題がありました。実は、こうした言葉にできないイメージの共有が、この仕事の一番難しい部分なんです。しかしPhotoShop Sketchを利用すれば、線画に自由に色を乗せ、その場でコンセンサスを取得していくことが可能です。タブレット端末の導入も含め、その活用を検討している段階です」(近藤氏)

同社はCreative Cloudの機能をフルに活用し、さらなる顧客満足度向上に生かしていく考えだ。

Adobe Creative Cloud  
グループ版に関する詳細

<http://www.adobe.com/go/cct>



アドビ システムズ 株式会社  
〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2  
ゲートシティ大崎イーストタワー  
[www.adobe.com/jp/](http://www.adobe.com/jp/)

Adobe Systems Incorporated  
345 Park Avenue  
San Jose, CA 95110-2704  
USA  
[www.adobe.com](http://www.adobe.com)

Adobe, the Adobe logo, Creative Cloud, Illustrator, and Photoshop are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated, in the United States and/or other countries.

Adobe, the Adobe logo, Acrobat, Adobe PDF logo, and Reader are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.  
© 2017 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. Printed in Japan.